

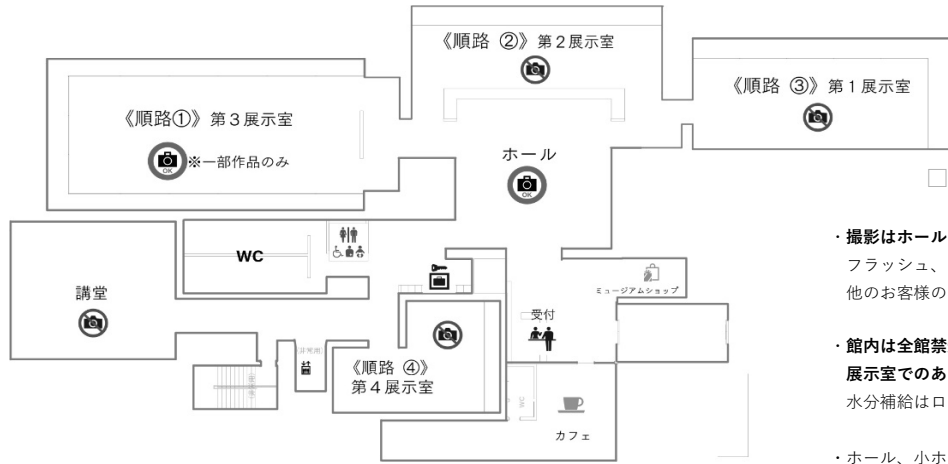
# ライトアップ 木島櫻谷

このしまおうこく

四季連作大屏風と沁みる「生写し」

2024.3.16 SAT → 5.12 SUN

泉屋博古館東京 SEN-OKU  
HAKUKOKAN  
MUSEUM TOKYO



ご鑑賞にあたってのお願い

- ・撮影はホールおよび、第3展示室内の一部作品のみ可能です  
フラッシュ、三脚等の使用、動画撮影はご遠慮ください  
他のお客様の写り込みや、シャッター音へのご配慮もお願いします
- ・館内は全館禁煙となっております  
展示室でのあめ・ガムを含む飲食はご遠慮ください  
水分補給はロッカー前の小ホールにてお願いします
- ・ホール、小ホールも含め、館内での会話はお控えくださいますようお願いいたします

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます

## 【出展目録】

No.	作者	作品名	制作年	材質技法	形状員数	所蔵
§ 1：四季連作屏風のパノラマ空間へ、ようこそ。						
1	木島櫻谷 このしまおうこく	雪中梅花 せっちゅうばいか	大正7年(1918)	絹本金地着色	6曲1双	泉屋博古館東京
2	木島櫻谷	柳桜図 やなぎさくらず	大正6年(1917)	絹本金地着色	6曲1双	泉屋博古館東京
3	木島櫻谷	燕子花図 かきつばたず	大正6年(1917)	絹本金地着色	6曲1双	泉屋博古館東京
4	木島櫻谷	菊花図 きっかず	大正6年(1917)	絹本金地着色	6曲1双	泉屋博古館東京
5	木島櫻谷	竹林白鶴 ちくりんはっかく	大正12年(1923)	絹本金地着色	6曲1双	泉屋博古館東京
6	今尾景年	深山懸瀑図 しんざんけんぱくず	明治時代後期 (20世紀)	紙本墨画淡彩	1幅	泉屋博古館東京
§ 2：「写生派」先人絵師たちと櫻谷						
7	円山応挙 まるやまおうぎょ	双鯉図 そうりず	江戸時代・天明2年 (1782)	絹本着色	1幅	泉屋博古館
8	円山応瑞 まるやまおうずい	牡丹孔雀図 ぼたんくじゃくず	江戸時代 (18-19世紀)	絹本着色	1幅	泉屋博古館
9	白井直賢画・本居大平賛 しらいなおかた・もとおろおひら	福寿草鼠図 ふくじゅそうねずみず	江戸時代 (18-19世紀)	絹本着色	1幅	泉屋博古館
10	木島櫻谷	葡萄栗鼠 ぶどうりす	大正時代 (20世紀)	絹本着色	1幅	泉屋博古館東京
11	岸連山 きしれんざん	寒月照梅花図 かんげつばいかをてらすのず	江戸時代 (19世紀)	紙本墨画淡彩	1幅	泉屋博古館
12	松村景文 まつむらけいぶん	老松鴛鴦図 ろうしょうえんおうず	江戸時代 (19世紀)	絹本着色	1幅	泉屋博古館

No.	作者	作品名	制作年	材質技法	形状員数	所蔵
13	伝・森徹山 もりてつぎん	檀鴨・竹狸図 まゆみかも・ちくりず	江戸時代（19世紀）	絹本着色	双幅	泉屋博古館
14	木島櫻谷	秋野老狸 しゅうやろうり	昭和初期頃（20世紀）	絹本着色	1幅	個人蔵
15	木島櫻谷	雪中鴛鴦図 せっちゅうえんおうず	昭和初期頃（20世紀）	絹本着色	1幅	個人蔵
16	木島櫻谷	狗児図 くじず	大正時代（20世紀）	紙本墨画淡彩	1幅	個人蔵
17	森一鳳 もりいっぽう	猫蝙蝠図 ねここうもりず	江戸時代（19世紀）	絹本墨画淡彩	1幅	泉屋博古館

### § 3：櫻谷の動物たち、どこかヒューマンな。

18	望月玉泉 もちづきぎょくせん	蘆雁図 ろがんず	明治40年（1907）	絹本着色	双福	泉屋博古館東京
19	木島櫻谷	雨中鶉鷓図 うちゅうこうせいず	大正時代（20世紀）	絹本墨画淡彩	1幅	個人蔵
20	木島櫻谷	波上群禽図 はじょうぐんきんず	明治時代（19-20世紀）	絹本淡彩	1幅	個人蔵
21	木島櫻谷	獅子虎図屏風 ししとらずびょうぶ	明治37年（1904）	紙本着色	6曲1双	個人蔵
22	木島櫻谷	雪中老猪図 せっちゅうろうちよず	大正時代（20世紀）	絹本淡彩	1幅	個人蔵
23	木島櫻谷	双鹿図 そうろくず	明治30年代（19-20世紀）	絹本着色	1幅	個人蔵
24	木島櫻谷	雪中孤鹿 せっちゅうころく	明治30年代末頃（20世紀）	絹本墨画淡彩	1幅	個人蔵
25	木島櫻谷	秋野孤鹿 しゅうやころく	大正7年(1918)頃	絹本着色	1幅	泉屋博古館東京
26	木島櫻谷	写生帖 しゃせいちょう	明治時代（19-20世紀）	絹本墨画淡彩		櫻谷文庫

### 【第4展示室】同時開催企画：住友財団助成による文化財修復成果－文化財よ、永遠に

1		毘沙門天立像 びしゃもんてんりゅうぞう	平安時代（12世紀）	木彫	1躯	泉屋博古館
2	呉春・亀岡規礼 ごしゅん・かめおかきれい	松・牡丹孔雀図衝立 まつ・ぼたんくじゃくずついたて	江戸時代（18-19世紀）	紙本金地着色	1基	泉屋博古館

## 【次回展のお知らせ】

### 企画展 歌と物語の絵 — 雅やかなやまと絵の世界

古来、語り読み継がれてきた物語は、古くから絵巻物など絵画と深い関係にありました。和歌もまた、三十一文字の世界が絵画化されたり、絵に接した感興から歌が詠まれたりと、絵画との相互の刺激から表現が高められてきました。物語絵や歌絵の特徴のひとつは、精細な描写と典雅な色彩。宮廷や社寺の一級の絵師が貴人の美意識に寄り添い追求した「やまと絵」の様式を継承することでしょう。広い階層に広がった近世には自由で個性豊かな屏風、絵巻も登場します。本展では館蔵の住友コレクションから、近世初期の物語絵と歌絵を選びすぐって紹介します。

会 期 2024年6月1日（土）～7月21日（日）  
休 館 日 月曜日、7/16（火）（7/15は開館）  
開館時間 午前11時～午後6時（入館は午後5時30分まで）  
\* 金曜日は午後7時まで開館（入館は午後6時30分まで）  
会 場 泉屋博古館東京（東京・六本木）  
入 館 料 一般1,000円 高大生600円 中学生以下無料  
\* 20名以上は団体割引料金（一般800円、高大生500円）  
\* 障がい者手帳ご提示の方は無料



《竹取物語絵巻》（部分）江戸時代・17世紀 泉屋博古館



最新情報は当館WEBサイトをご覧ください▶▶▶